

製品名: HDAC8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00120**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,FC,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。 |
| 精製 | アフィニティークロマトグラフィー |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50 |
| 分子量 | Calculated MW: 42 kDa; Observed MW: 42 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | HDAC8 |
| 別名 | HDAC8; HDACL1; CDA07; Histone deacetylase 8; HD8 |
| 遺伝子 ID | 55869 |
| SwissProt ID | Q9BY41 |
| 免疫原 | ヒト HDAC8 の合成ペプチド |

背景

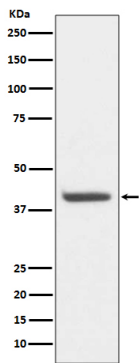
コアヒストン（H2A、H2B、H3、H4）の N 末端リジン残基の脱アセチル化を担う。ヒストンの脱アセチル化はエピジェネティック

抑制の標識となり、転写制御、細胞周期の進行、そして発生過程において重要な役割を果たしている。ヒストン脱アセチル化酵素は、巨大な多タンパク質複合体の形成を介して作用する。平滑筋細胞の収縮能に関与している可能性がある。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HDAC8 抗体を使用した HeLa 溶解物中の HDAC8 のウエスタン ブロット分析。